

外観



新校舎のデザインは、関西学院キャンパス内の建築様式である「スパニッシュ・ミッション・スタイル」で統一。「伝統」と「未来」が調和した明るい雰囲気が漂う。

女子トイレ全体



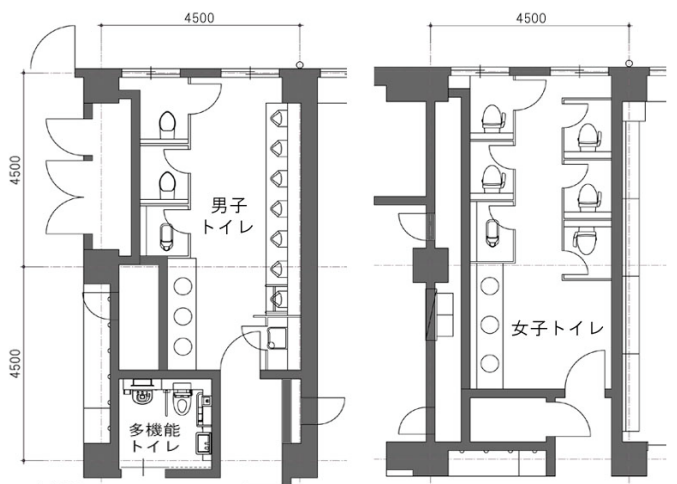
内装は淡いピンクベージュ系で統一。床・壁ともタイル仕上げだが、日常の清掃はモップでの乾式清掃。

大便器コーナー



女子トイレのブースの壁は、防犯対策として床から天井まで立上げている。また各トイレに1ヶ所、広めの車いす使用者対応ブースを確保。

校舎トイレ図面



※多機能トイレは1Fのみ
休み時間の生徒の流れを分散させるため、男女の各トイレは校舎の対角線上に配置。入口は廊下から少し奥まった位置に設定し、トイレの気配をさりげなく消している。

男子トイレ全体



淡いブルーグレー系でまとめた内装。低リップタイプの壁掛小便器は、一定時間ごとに機能水（殺菌力のある電解水）を流す事で、最小限の洗浄水でのいおの発生や尿石の付着を抑制するジアテクト機能付き。

大便器ブース



これまでのトイレ計画でも、大便器洗浄の自動化や、ウォシュレット・音姫の設置を推進してきた。洋式化も進めており、和式便器は1ヶ所だけ設置。

多機能トイレ



教室棟1FにあるRESTROOM ITEM01の多機能トイレは、さまざまな身体状況の方々が使いやすいよう、オストメイト対応の汚物流しも設置。入口には間口を広く確保できる3枚引戸を採用。

プール横トイレ



ウォシュレットは水ぬれに配慮して、ホテルのバスルームにも設置可能な防湿タイプを採用。車いす使用者対応ブースには、外開きドア・L型手すりを設置。

建築概要

名 称	関西学院中学部（かんせいがくいんちゅうがくぶ）
所 在 地	兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
施 主	学校法人関西学院
設 計	株式会社日本設計
施 工	竹中工務店・戸田建設共同企業体
設備施工	株式会社大阪城口研究所
竣工年月	2011年3月
建物規模	地下1階地上3階 鉄筋コンクリート造
延床面積	10,438㎡

多機能トイレ



体育館1Fの多機能トイレにも、空間の美しさと快適さを追求したRESTROOM ITEM 01の多目的トイレバック（汚物流しなしタイプ）を採用。教室棟とは左右勝手違いにしている。

プール横更衣室



機能部をスパウトに内蔵したオールインワンタイプの自動水栓を採用。ドライヤーを使用する生徒のために、カウンター下にコンセントを設置。

水まわりの特長

＜建物の特徴＞
関西学院の中学部・高等部・大学を擁する西宮上ヶ原キャンパスは、1929年に神戸市から移設。創立時からの美しいデザインを現在も継承しつつ、新しいニーズにも対応しながら発展を続けてきた。今回、中学部では2012年度からの共学化に向けて、新校舎および地下にプールを備えた体育館が建設された。

＜トイレの特長＞
関西学院では、これまでに大学校舎のトイレ（改修・新築）において、独自の調査結果をもとに利用者の快適性を向上させてきた。今回の計画でも、生徒・職員が気持ちよく使えるキレイなトイレづくりと、節水性能の追求による環境配慮が実践された。

また、プール更衣室は初等部の児童も利用するため、安全面への配慮が重要と判断。ボイラーからの熱湯が来ている洗面器の水栓には、水栓側で温度調整ができるよう、サーモスタットユニットや小型発電機をスパウト内部に搭載した、オールインワンタイプのアクアオートを採用。電源工事や洗面器下に機能部を設置する必要がないため、シンプルにすっきりとまとまっている。また、スパウトが高く前出もあるデザインなので、手も洗いがしやすいと好評。安全性とデザイン性、使いやすさを実現している。